

31-0665 W2-5

阿仙薬の品質評価 (3) カテキン 2 量体類

○黒田 佳代¹, 波多野 力¹, 土居 功一², 米田 裕治², 田部 昌弘², 吉田 隆志¹ (¹ 岡山大学,² 大幸薬品)

【目的】我々は先に、阿仙薬の品質評価を目的として、インドネシアで入手した阿仙薬及び国内市場品の阿仙薬試料について、その主成分である Catechin の定量とバニリン塩酸法による総縮合型タンニン類の定量を行った。その結果、これらの定量値は試料によって大幅に異なることが明らかになった。

今回、Catechin 以外の化合物について、品質評価の指標となりうるか否か検討を行うため、阿仙薬試料の順相 HPLC のクロマトグラムから各試料における含有量差が観察された縮合型タンニン二量体を精製し、同定を行った。

また Catechin の加熱処理産物の検討も行った。

【実験・結果】阿仙薬成分を MeOH で抽出し、抽出した総エキスを各種カラムクロマトグラフィーにより分画を行い、逆相 HPLC において主要なピークである GT-1 (Procyanidin B1)、GT-2 (Gambirinin A1)、GT-3 (Procyanidin B3) を得た。また、阿仙薬調製時の成分変化について明らかにするため、Catechin をオートクレーブ中で加熱し、GT-2 の生成を確認した。

